さいたま市国際交流センター発

IEC News

Saitama City International Exchange Center

No. 03
2013 Feb.

CONTENTS

1 日本語スピーチ大会
2 委員会活動報告
3 2年間を振り返って
4 イベントスケジュール

「私の好きな場所」
第11回 外国人による日本語スピーチ大会

2月2日㈯「さいたま市外国人による日本語スピーチ大会」が開催されました。7か国10名の出場者が「私の好きな場所」についてスピーチしました。各賞受賞結果は本誌6ページをご覧ください。

大好きで大切な場所「テヘランの屋根」

市長賞を獲得したニルファー・アハマディさん（イラン）のお話を聞きました。ニルファーさんの好きな場所は、川口のとある散歩道。そこは緩やかな坂道が小さなお社（やしろ）に続く道で、祠（ほこら）の脇からは町を望むことができるそうです。故郷の大切な場所、何度となく訪れ、お父さんが倒れた時もそこで無事を祈った、バーメテヘラン（テヘランの屋根）を思い起こさせてくれる場所。「がんばりなさい」と日本に送り出してくれたお父さんが再び倒れた時、ニルファーさんは、気がつくとその小道に立ち、父の無事を一心に祈りました。するとニルファーさんの祈りが通じ、お父さんは無事回復。その時、その散歩道は、7600㎞離れた川口とテヘラン、家族と自分をつないでくれる特別に大切な場所になったのだそうです。

「とても緊張してしまいました。とてもうれしいです。助けてくださった（日本語学校の）先生に感謝しています。」とニルファーさん。ニルファーさんは、現在さいたま市内の日本語学校で勉強中。間もなく帰国する予定で、帰国後は、テヘランで日本語を教えたいと言っています。また、ガイドとして、日本からの観光客を案内したいと目を輝かせていました。

テヘランにおいでの際は、ぜひ、ニルファーさんの案内で「テヘランの屋根」を歩いてみてください。（中野一恵）

進行役のチャノンさんとナラットさんが、簡単な質問をして出場者の緊張をほぐし、和やかな雰囲気で進行しました。審査を待つ間には、大学4年生の服部さんと堀井さんが、ゲームやクイズで会場を盛り上げました。

審査委員長の講評では「大変すばらしいスピーチを聞かせてもらって感謝しています。今年は、内容、構成、表現、どれをとっても大変優れていて、賞を選定することが難しかった」と一人一人にコメントが添えられました。

5月の連休は市民の森に集合!!
国際友好フェア2013

日時　2013年５月３日(金･祝)・４日(土･祝)　９：00～16：00（４日は15：00まで）
場所　市民の森・見沼グリーンセンター（JR 土呂駅から徒歩約８分）

３月。毎年この時期は、国際交流センターの活動を支えてきた委員が一番ほっとする時期ですが、「国際友好フェア」の実行委員だけは別です。「国際友好フェア」はおよそ30ヶ国60団体が参加して、楽しみながら世界の国の文化や人々の暮らしを知ることができるイベント。今年もすでに実行委員会による準備がスタートしています。実行委員は、いかに楽しんでもらうか、楽しみながら国際交流や国際協力に関心を持ってもらえるか、毎年知恵を絞ります。

国際交流センターが実施するイベントの中でも随一の規模を誇るこのイベントを成功させるためには、ボランティアの協力は欠かせません。高校生、大学生を含め、たくさんのボランティアが当日を盛り上げてくれます。一方、毎年赤字覚悟で参加してくれる料理店や出店するために母国の民芸品を取り寄せる人もいます。「役に立てる機会を与えてくださってありがとうございます。」という外国人留学生の言葉がとてもうれしく、「お客さん」として迎え入れるだけでなく、一緒に活動する「仲間」として、外国人ボランティアに活躍してもらえる企画をふやしていきたいと考えています。

出展団体・ステージ出演者募集!!
募集期間：３月１日～３月31日必着
詳細のお問い合わせ・お申し込みは IEC まで。
出展要領・申し込み用紙は IEC の HP で
ダウンロードできます。
(http：//www.stib.jp/kokusai)

継続的な交流を　「姉妹都市交流分科会」

さいたま市が提携している姉妹・友好都市は、世界中に６つあります。アメリカには**リッチモンド市**と**ピッツバーグ市**の２つ、メキシコには**トルーカ市**、中国には**鄭州市**、ニュージーランドには**ハミルトン市**、カナダには**ナナイモ市**と一つずつあり、野球少年団、サッカー少年団の相互派遣など交流が続けられています。当分科会ではさまざまな交流のお手伝いや、さいたま市の各イベントでの姉妹・友好都市の PR など幅広く活動をしています。

（異文化交流事業委員会委員　平田　繁）

犯罪被害にあわないために

昨年12月21日㈮、「にほんごのへや」浦和保育付きコースでは、年末の犯罪多発シーズンに合わせ、浦和署生活安全課の協力を得て、「身近な犯罪の抑止」について講話を受けました。ひったくり被害や困りごとがあっても相談しにくい外国人に対し、対策法などを英語、中国語で分かりやすく説明して頂きました。自転車のワイヤーとひったくり防止用のカバーが一人ひとり配られ、受講者の一人は「こういう防犯の話を聞いたのは初めてで、どうすれば被害にあわないかよくわかってとてもよかったです。」と感想を述べていました。今後も続けていきたい企画です。

（にほんごのへやスタッフ　真下　慶子）

初来日した外国人の日本家庭訪問

昨年11月17日㈯、外国人参加者24名と受け入れ日本人15家庭が参加し、IEC にてホームビジットの対面式を行いました。

最初は皆さん緊張した様子でしたが、式が進むにつれて、お茶やお菓子を食べながら打ち解けた雰囲気の中で会話が弾みました。そして、いよいよ各家庭に行く時間になり、皆さんの楽しそうな姿が印象的でした。

私たちは関係者として国際交流に協力出来て良かったと思い、今後もこのような活動を続けていきたいです。

（異文化交流事業委員会委員　風間　暁子）

ホストファミリーのお宅で

着物で初詣！　着物着付け体験会

色とりどりの着物で初詣

１月４日㈮、今年も異文化交流事業委員会による外国人のための着物着付け体験会が実施されました。

抽選で選ばれた留学生を中心とする参加者45名が氷川の杜文化館に集まり、44名のボランティアスタッフが手際よく着物の着付けから初詣までお世話していきます。三々五々初詣から帰ってくる参加者は、とっても楽しそうで終始笑顔が絶えません。特に振袖の参加者が帰ってくると大きな花が咲いたように周りが華やぎ、節電のため薄暗かった文化館のロビーが春の日向のように明るくなります。

参加者はもちろんボランティアスタッフもたいへん楽しい一日をすごしました。

（ボランティアスタッフ　山東　祥弘）

扉を開けて、一歩踏み出そう！

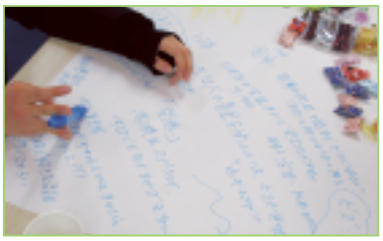
昨年11月24日㈯に第２回次世代養成セミナーを開催しました。学生による異文化体験発表、（公財）オイスカの三谷氏によるゲストトーク、そして、会場全員が参加するワールドカフェ*1 という充実したプログラムでした。（＊１ワールドカフェの解説は IEC ニュースNo.２参照）三谷さんのお話は「ブレイク・スルー」がテーマ。「さまざまな柵や殻を打ち破ってみよう！外に出てみよう！」という若い世代へのメッセージが伝わりました。ワールドカフェに参加していた高校生は「初めての経験でした。自分と同じ意見もありましたが、いろいろな違う意見を聞けて面白かった。」と楽しそうでした。

私自身、高校生の堂々とした発表に刺激を受け、留学生の視点から見た文化の比較に、新たな発見が多々ありました。ワールドカフェでは、世代の異なる参加者同士が意見を交換し合い、多様な考えを知ることの面白さを改めて感じました。

（ユースボランティア
大石　友梨香）

日本に来て感じた文化の違いについて発表する留学生

（公財）オイスカ　三谷氏のゲストトーク



ワールドカフェでは話したことをどんどん模造紙に書いていきます

さいたま市へようこそ！はじめましての会

さいたま市に来て間もない外国人の方と、市民との出会いの場です。書道など日本の文化体験、楽しいゲームを通して交流します。お申し込みは IEC まで！

日時　2013年４月20日㈯13：30～15：30　参加費　300円

場所　浦和コミュニティセンター　第15集会室（浦和駅東口　コムナーレ９階）

平成24年度 活動報告

4/21
はじめましての会

5/3・4　国際友好フェア

6～8月　語学講座（前期）

7/9　サロンスタッフ研修会

7月　日本語ボランティア養成講座

8/1～10　スポーツ少年団派遣
（リッチモンド）

8/4　ロシア語おしゃべりサロン
スタート！

8/24　ユースボランティア
ニュージーランド大使館＆
JICA地球ひろば見学

ミニ講座（月に1回程度実施）

9/1　さいたま市
総合防災訓練参加

10/2　海外日本語教師との交流会

9月　日本語ボランティア養成講座

10/7　国際ふれあいフェア

10/20　はじめましての会

11/17　ホームビジット

にほんごのへや（毎週金曜日）

11/20　わいわいサロン
トライアルイベント

11/24　次世代
養成セミナー

12/1　普通救命講習会

12/15　みんなでおしゃべり会

12～3月　語学講座
（後期）

1/4　着物着付け体験会

1/12　お正月会
（にほんごのへや・ドットg）

1/20　ユースボランティア養成講座
「ケータイの一生」
2/2　外国人による日本語スピーチ大会
2/23　わくわく国際フェスタ
2/23　減災ワークショップ
「手作りコンロ」

2年間の活動を振り返って　私たちの目指していること

さいたま国際観光協会のキャッチフレーズ、ロゴにもデザインされているその言葉は“Welcome to Saitama”、さいたま市を訪れる人を「ようこそ！」と迎え入れるホスピタリティ（＝お迎えする心）を表し、楽しい思い出を胸にまた訪れてほしい、そんな願いが込められています。さいたま市国際交流センターでは、国際交流を通して「さいたま市のホスピタリティの向上」を目指し、外国人と市民とのさまざまな交流の機会を提供しています。

友だち100人できるかな？

「一年生になったら」という歌があります。100人とは言わないまでも、この街で、気の合う友人ができたら、一人でも知り合いが増えたら、道で会った近所の人とあいさつを交わすことができたら、縁あってさいたま市に暮らすことになった外国人の毎日が楽しくなることでしょう。そんな「はじめまして」を提供する機会が「はじめましての会」や「海外日本語教師との交流会」などの交流パーティです。書道などの日本文化に触れたり、全員でゲームをしたり、楽しく過ごすことを目的にしています。会社や学校が違えば、外国人同士でも出会うことは少ないのが現実。参加者同士、連絡先を交換して、交友が始まることも少なくありません。

普段着の交流

旅行先やパーティなども出会いの場の一つですが、そうした「よそゆき」の出会いとは一味違う出会いの形が「ホームステイ」や「ホームビジット」です。自宅に招かれて、日本人のありのままの暮らし方を見ることができ、たどたどしい日本語でもゆっくりと時間をかけて話ができる機会から生まれる交流は長く続くことも多く、「お母さんに会いたいと言って訪ねて来るのよ」「今日はうちの“次男”がタイ料理を作ってくれるの」といそいそ帰るホストもいます。帰国した後も交流は続き、「リタイア後に夫婦で世界中にいる子どもたちを訪ねるのが楽しみ」「日本のお母さんとお姉さんを結婚式にぜひ招待したいと言われたので、いってきます」などという声が聞かれます。

ホスピタリティ向上作戦！

こうした交流の機会を提供する一方で、会員や市民が外国の歴史や文化を知り、相互の理解を深める場として、「サロン展示」や「ミニ講座」、「語学講座」、「おしゃべりサロン」を実施しています。また、外国人を対象に「着付け体験会」など日本の文化を紹介する企画やご近所感覚で生活の相談にのる「簡易生活相談」、生活で使う日本語やさいたま市で暮らすために必要な情報を提供する「にほんごのへや」などの活動も行っています。

「楽しくなければボランティアじゃない！」を合言葉に、ボランティアのすそ野を広げる活動にも取り組んでいます。委員、スタッフ、イベントでのボランティア、通訳・翻訳ボランティアなど、いろいろな形で参加できます。「日本語学習支援」「防災・災害時支援」などのボランティア養成講座、「広報」「外国人登録と住民基本台帳」をテーマにしたスタッフ研修会を実施し、ボランティアのスキルアップにも努めています。一緒に活動する仲間を増やしたいという思いだけでなく、「やってみようかな？」という気持ちを応援したい、IECが国際交流・国際協力への扉を開きたいと思っています。

すばらしい仲間に恵まれて

異文化交流事業委員会委員長　田中　カツ子

財団法人から社団法人、そして公益法人へと組織が変わる過渡期にあって、組織は変わっても事業内容になんら変更はないとは言われ続けて私たちの活動は継続されました。いろいろ説明されても不安や戸惑う事がありましたがそんな中にあって特筆すべきは委員会全体のチームワークの良さでしょう！

各分科会においてリーダーを中心に「お互い様」と「おかげ様」の精神で協力し合い、工夫を重ねて、内容についても規模においても各行事毎に過去を上回る参加者を得て、盛況に終了する事ができました。若い世代や新規参加者が増えたこともうれしいことです。地域に住む外国籍を含むすべての住人が互いの文化や習慣の違いを認め合い、分かり合える努力をしあう手助けができたと信じ、これからも活動を続けます。

今後は既存の行事を見直し、検討しながら、参加してよかったと思えるような充実した行事にして頂きたいものです。

毎月開催される委員会でも委員全員に発言していただくよう努力し、活発な意見交換を心がけました。素晴らしい同志に恵まれたことに深く感謝します。

支え合う良き隣人でありたい

支援・学習事業委員会委員長　真下　慶子

支援・学習事業委員会では4事業を担当してきました。日本語支援事業、子育て支援事業、この2事業は直接、外国人が生活者として困らないためのことばの学習や生活情報などをサポートするもので、良き隣人として支え合っていくことを目的としています。また、日本語ボランティア養成講座、語学講座は前記の事業などに携わるスタッフの養成や、コミュニケーションに必要な外国語を学ぶことで、外国人市民と交流できることを目的としています。特に日本語ボランティア養成講座は毎回2～5倍の競争率で応募があり、スタッフは嬉しい悲鳴をあげました。市民の方々の意欲とボランティア活動への意識に感動しました。国際交流センターがコムナーレに移って新規事業として登場したのが「にほんごのへや」です。保育付きの日本語教室として外国人から大変喜ばれるだけでなく、新しい方式は全国で評価され見学者がたくさん来ました。現在、コムナーレで、保育付きコース、夜一般コース、子どもコースの3コース、大宮区役所で保育付きコースを運営しています。また、「ぷらっとあそぼうドットg」は毎月第2土曜に開催しています。来年度からは、毎週火曜日に「わいわいサロン」も始まります。地道な活動ですが、支援・学習事業委員会の事業、今後もご支援よろしくお願いします。

新たな組織でスタートします

業務委員会委員長　寺町　豊

2012年4月、㈶さいたま国際交流協会は、㈳さいたま観光コンベションビューローと合併し㈳さいたま観光国際協会として新たに発足しました。旧国際交流協会はその中で国際交流センターとなり、さいたま市からは以前にも増して多文化共生活動の推進を期待されています。そこで委員有志より、合併後は大きな組織の中の一部門となることから、今の活動を見失うことなくこれからの活動をより活性化できるよう話し合おうとの声が上がりました。これを受け業務委員会は、二事業委員会と事務局、常務理事の約20名からなる運営検討委員会を立ち上げ現在の活動の目的や意義を総点検し、半年間にわたる話し合いの結果、センターの活動理念を再確認、効率的運営を目的に新たな組織体制や運営方法（業務委員会廃止、代表者会議強化など）が取りまとめられました。来年度は全委員の改選があるので、新体制によってセンターは運営されます。さいたま市の、草の根市民ボランテイアによる多文化共生活動は今や全国的にも高く評価されていますが、外国人市民との健全な地域での共生はこれから益々大切になるため、新たな体制によりこの活動が更に充実し発展することを確信しています。

IECイベントスケジュール 2013 Mar ・・・▶ 2013 May

ミニ講座「トーゴ共和国」

日　時： 3月21日㈭13：30〜15：30
場　所： IEC　ぷらっとサロン　**参加費：** 無料
申込方法： 次の情報をお知らせください。
①名前　②電話番号　③住所

にほんごのへや　春期子どもコース

日　時： 4月2日㈫・3日㈬14：00〜15：30
場　所： IEC　多目的室
参加費： 無料　**申込み：** 不要

ぷらっと遊ぼうドットg「わいわいサロン」4月からスタート！

子育て中の外国人親子が気軽に集まれる、情報交換の場です。
国籍問わず交流したい子育て中のみなさん集まれ！
日　時：（4月から）毎週火曜日（第1火曜を除く）10：00〜12：00
場　所： IEC　ぷらっとサロン　**参加費：** 無料　**申込み：** 不要

ミニ講座「バングラデシュ」

日　時： 4月13日㈯13：30〜15：30
場　所： IEC　ぷらっとサロン　**参加費：** 無料
申込方法： 次の情報をお知らせください。
①名前　②電話番号　③住所

はじめましての会

日　時： 4月20日㈯13：30〜15：30
場　所： 浦和コミュニティセンター　第15集会室
（コムナーレ9階）
定　員： 100名（先着順）
参加費： 300円
申込方法： 次の情報をお知らせください。
①名前（ふりがな）②電話番号 ③Email または FAX ④国籍

国際友好フェア2013

日　時： 5月3日（金・祝）、4日（土・祝）9：00〜16：00
（4日は15：00まで）
場　所： 市民の森・見沼グリーンセンター
詳細は本誌P.2

語学講座（前期）

開催時期： 6〜8月　4講座開講予定
場　所： IEC　多目的室
定　員： 各15名
参加費： 協会会員6,000円／非会員8,000円
その他： 申込方法、詳細は4月以降IECへお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。
また、講師募集も随時受付中。詳しくはIECへ。

【問合せ・申込み先】
さいたま観光国際協会　国際交流センター
連絡先は下記のとおり。
各イベントの詳細はHPでご確認いただけます。
http://www.stib.jp/kokusai

おしゃべりサロンスケジュール

中国語
10：30〜12：00
3／21㈭、23㈯
4／18㈭、27㈯
5／16㈭、25㈯
14：00〜15：30
3／5㈫
4／2㈫
5／7㈫

英語
13：30〜15：00
3／23㈯
4／27㈯
5／25㈯
18：30〜20：00
3／13㈬
4／10㈬
5／8㈬

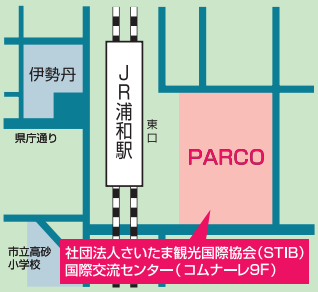
スペイン語　10：30〜12：00
3／5㈫、27㈬　4／2㈫、17㈬　5／7㈫、15㈬

韓国語　13：30〜15：00
3／14㈭、28㈭　4／11㈭、25㈭　5／9㈭、23㈭

日本語　13：00〜15：00
3／20㈬　4／17㈬　5／15㈬

ロシア語　16：30〜18：00
3／2㈯、16㈯　4／6㈯、20㈯　5／18㈯

第11回外国人による日本語スピーチ大会 受賞者一覧

賞	氏名（出身国）・タイトル
（最優秀賞）さいたま市長賞	ニルファー・アハマディ（イラン）「テヘランの屋根」
（優秀賞）さいたま市議会議長賞	韓（かん）　峰（ほう）（中国）「冬は−30度のチチハル」
（優秀賞）さいたま観光国際協会賞	パッチャラポン・レクノイ（タイ）「富士山不死山」
ユニーク賞	秦（しん）　桜蘭（おうらん）（中国）「未知の旅」
ほのぼの賞	クセニヤ・ソスノフツェヴァ（ロシア）「ロシアの別荘」
行ってみたいで賞	遠藤　ゴラッコー（タイ）「やすらぎを求め、お寺へ」
ユーモア賞	アヌールディーン・ファーティマ・リシャナ「いつも心にある場所」（スリランカ）
にほんごのへや賞	樋口　ロサリンダ（フィリピン）「片道20分の天国」
ふるさと賞	レグェン・タオ（ベトナム）「人生の終始の場所」
絆賞	グィム・ティ・ラン（ベトナム）「おじいちゃんの家」

【発行元】
社団法人さいたま観光国際協会　国際交流センター
Saitama Tourism and International Relations Bureau（STIB）
International Exchange Center（IEC）
〒330-0055　さいたま市浦和区東高砂町11-1　コムナーレ9F
TEL 048-813-8500　FAX 048-887-1505
E-mail iec@stib.jp　URL http://www.stib.jp/kokusai
開館時間：午前9時〜午後8時
休 館 日：毎週日曜日、5月3・4日、年末年始（12/29〜1/3）